



事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

国道9号の交通量は千代原口地区(H25.2)、京都縦貫自動車道(沓掛～大山崎)(H25.4)の開通後約1割減少。その後、五条大宮拡幅(H26.10)や京都縦貫自動車道の全線が開通(H27.7)するなど、周辺道路の整備が進展するが、交通量に大きな変化はない。

事業の進捗状況、残事業の内容等

平成11年度事業化、用地取得率約43%、事業進捗率約76% (平成29年3月末時点)

事業の進捗が順調ではない理由、今後の事業の見直し等

引き続き事業を推進し、早期の開通を目指す。

施設の構造や工法の変更等

事業実施にあたり、新技術・新工法の活用等によりコスト縮減に努める。

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

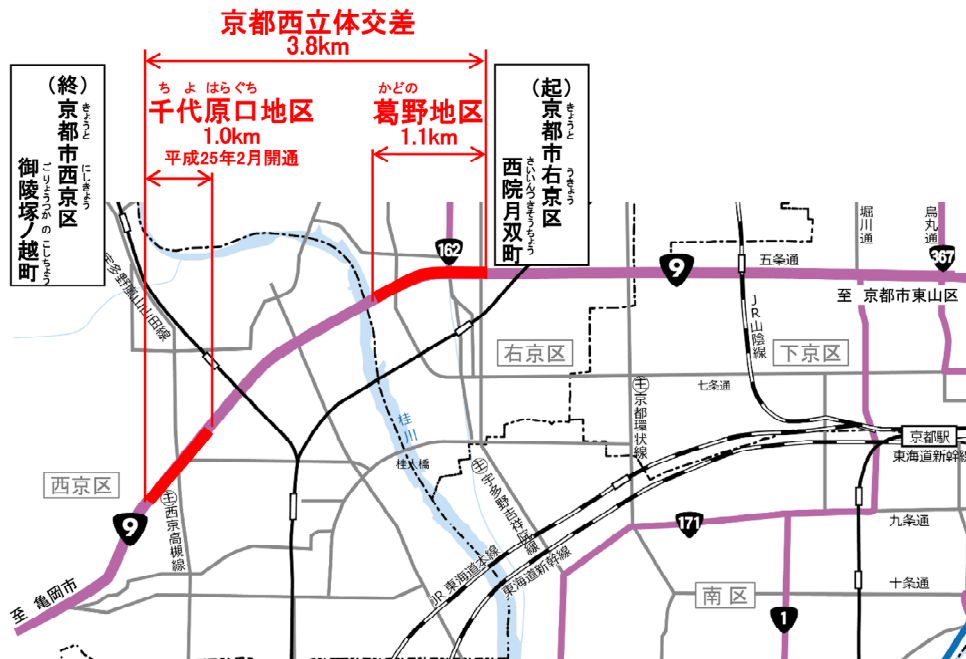
以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要

【位置図】



【概要図】



総費用、総便益とその内訳は、各年次の価格を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。